

士別市災害時備蓄計画



平成 29 年 3 月策定

士 別 市

平成 29 年 12 月	一部修正
平成 30 年 12 月	一部修正
令和 2 年 7 月	一部修正
令和 3 年 9 月	一部修正
令和 4 年 9 月	一部修正
令和 5 年 8 月	一部修正

目次

1. はじめに
2. 基本的な考え
 - (1) 家庭内備蓄
 - (2) 企業内備蓄
 - (3) 流通在庫備蓄
3. 行政備蓄の果たす役割
4. 行政備蓄の対象人口の想定
5. 行政備蓄品目および目標数
 - (1) 食料等
 - (2) 生活必需品等
 - (3) 資機材
6. 行政備蓄品の保管について
7. 資料編 年次整備計画

■ 1. はじめに

本計画は、「士別市地域防災計画」における「物資及び防災資機材の整備・確保に関する計画」に基づき、備蓄に対する個別計画として策定するものです。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災や平成 28 年 4 月の熊本地震などの大規模災害のみならず、平成 28 年の 7 月から 8 月にかけての大雨や台風による本市をはじめ道内各地での水害など、自然災害は予測不可能であり、日ごろの災害に対する備えが重要です。

また、広大な行政面積を有する本市においては、避難所も数多く指定しているところであり、災害時の支援物資の搬送などにも時間を要することから、各指定避難所における必要物資などについても、予め定めておく必要があります。

こうしたことから、様々な備蓄品についての基本的な考え方について、この計画で定めるものです。

なお、本計画は、現在の人口や指定避難所の数などをもとに策定したものであり、新たな課題が生じた場合などにおいては、その都度検証を行うとともに、修正等を行うものとします。

■ 2. 基本的な考え

災害時の備蓄体制については、「自助」・「共助」・「公助」の考えを基本とします。これらの考え方をもとに、家庭内備蓄（自助）、企業内備蓄（共助）、流通在庫備蓄、行政備蓄（公助）をふまえ、市民・企業・行政が一体となって備蓄体制を推進します。

（1）家庭内備蓄

市民自らが、平常時から災害に備え、家庭内で最低3日分の食料や飲料水及び生活必需品等の備蓄することを推進するものです。また、市は、講習会や広報紙などによりその推進を呼びかける啓発活動を行います。

主な備蓄品目については、次のとおりです。（各家庭では適宜必要なものを備蓄する）

種別	主な品目
食料	レトルト食品、アルファ米、即席めん、缶詰、乾パン、菓子類、粉ミルク、液体ミルクなど
飲料水	1人あたり1日3リットルを目安
生活必需品等	衣類（冬季は防寒服）、毛布、軍手、タオル、ティッシュ、医療品、常備薬、おむつ、ラジオ、携帯電話充電器、懐中電灯、マスクや石鹼・消毒液等の衛生用品など

（2）企業内備蓄

家庭内備蓄と同様、事業所内で備蓄品を確保しておくものです。災害時に帰宅困難となった場合に対し、安全が確認できるようになるまでの間、事業所で待機・避難できるようにしておく体制の整備が必要です。

主な備蓄品は、家庭内備蓄に準じるほか、ヘルメットやスコップなど屋外での作業に必要な物品を整備することが望まれます。

(3) 流通在庫備蓄

市内外の事業所等と士別市が予め締結した協定等に基づき、災害時に必要な物資を調達するものです。市では、協定を締結した事業所等と、食料や生活必需品の供給などに関する各種協定を締結しており、これら協定に基づいて災害時の応急対応にあたります。

市が締結している応急生活物資等協定は、次のとおりです。

協定名	主な内容	協定先
災害時等における北海道及び市町村相互の応援に関する協定	食料等物資提供斡旋、被災者等救出・医療・防疫等提供斡旋、職員派遣等	北海道
災害時における相互応援に関する協定	食料等物資提供、被災者救出・応急復旧等資器材・救援車両提供、職員派遣、施設提供、住民基本台帳データ保管その他	愛知県みよし市
災害時における道北市長会構成市相互の応援に関する覚書	食料等物資提供斡旋、被災者救出・応急復旧等資器材・救援車両提供、職員派遣、施設提供、職員派遣等	旭川市、留萌市、稚内市、芦別市、紋別市、名寄市、深川市、富良野市
災害時の物資供給及び店舗営業に関する協定	物資供給、物資運搬への協力	(株)セブン-イレブン・ジャパン
災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定	災害対応型自販機による情報提供、災害対応型自販機内在庫飲料の無償提供	北海道コカ・コーラボトリング(株)
災害時における支援協力に関する協定	物資供給、物資運搬への協力	イオン北海道(株)
災害時等における緊急物資輸送及び物資配送等拠点の運営に関する協定	物資運搬への協力	ヤマト運輸(株)
災害時における物資供給等に関する協定	物資供給、物資運搬への協力	(株)道北アークススーパーアークス士別店
災害時における物資供給等に関する協定	物資供給、物資運搬への協力	(株)ダイゼン・DZマート士別店
災害時における物資供給等に関する協定	物資供給、物資運搬への協力	株式会社西條士別店
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	物資供給、物資運搬への協力	株式会社セコマ

■ 3. 行政備蓄の果たす役割

家庭内備蓄や企業内備蓄による災害への備えとともに、流通やライフラインが一時的に途絶えた場合を想定し、避難所等で必要とされる物資を行政として備えておく必要があります。特に、災害発生直後において、生命維持や生活に最低限必要な物資について備蓄するものとします。

■ 4. 行政備蓄の対象人口の想定

○想定条件

避難者数については、東日本大震災や熊本地震のように広域での災害となった事案を踏まえ、「地震」による災害を想定して算出します。

地震動については、「士別市耐震改修促進計画（平成22年3月策定）」において最も震度が大きいと予想される直下型地震を採用し、本市の広い範囲で震度6弱の揺れが発生すると想定します。

建物被害については、全壊246棟、半壊1987棟と想定します。このうち、全壊によって100%、半壊によって50%の割合の避難者が発生するものとし、それぞれに乗率（人口/世帯数）の2.08をかけた2,576人を想定避難者とします。

想定避難者の70%が、家庭内備蓄および企業内備蓄によって対応するものとし、任意の目標値30%の773人分を行政備蓄によって補完するものとします。

■ 5. 行政備蓄品目および目標数

(1) 食料等

食料については、災害発生直後1日（3食）分を確保するものとし、2日目以降は、流通物資と支援物資で対応するものとします。なお、賞味期限が1年を切ったものについては、自主防災組織の訓練や学校における避難訓練などで配布し、防災や備蓄に対する意識高揚のために活用することとします。

・調理不要備蓄食（アルファ米等） ・粉ミルク ・缶詰 ・ビスケット、クッキー、液体ミルク

食料等

品目	目標数量
アルファ米（主食）	あわせて2,400食
マジックパスタ（主食）	
おかゆ（※1.2）	600食
缶詰（副食）	800食
ビスケット・クッキー・ようかん	800食
粉ミルクスティックタイプ（※1.2）	あわせて184箱
液体ミルク	
飲料水（500ml ペットボトル）	5,000本

食料品に関しては、消費期限があるため、古いものから消費し、使用した分を補充するローリングストック方式を採用します。

(2) 生活必需品等

避難生活をするにあたって、避難所等で必要とされる物資を整備します。災害発生直後の3日間を想定し、4日目以降は流通物資で対応します。

・毛布 ・タオルケット ・寝袋 ・紙おむつ ・介護おむつ ・生理用品 ・救急用品 ・フロアマット ・防災ラジオ ・懐中電灯 ・簡易トイレ ・タオル ・マスク ・手指消毒液

生活必需品のうち紙おむつや生理用品などの消耗品は、食料品と同様にメーカー推奨の使用期限を目安に古いものから消費し、使用した分を補充するローリングストック方式を採用します。また、使用期限が近くなった在庫は、公共施設などに配置し活用を図ります。

生活用品等

品目	目標数量	主な備蓄場所
毛布	1,000 枚	サンライズホール、旧共済事務所
タオルケット	500 枚	朝日支所、旧共済事務所
アルミブランケット	290 枚	市役所本庁舎
寝袋	100 個	市役所本庁舎、旧共済事務所、多寄出張所、上土別小中学校
紙おむつ（※1、2）	720 枚 各サイズ 240 枚	市役所本庁舎
介護おむつ（※1、2）	240 枚 各サイズ 70 枚	市役所本庁舎
生理用品	昼用 250 枚 夜用 50 枚	福祉事務所
ほ乳瓶（使い捨て）	25 本	保健福祉センター
マスク	1,600 枚	保健福祉センター
ティッシュペーパー	270 箱	市役所本庁舎、福祉事務所
トイレットペーパー	66 ダース	市役所本庁舎、福祉事務所
おしりふき	29 個	市役所本庁舎
ウエットティッシュ	29 個	市役所本庁舎
手指消毒液	29 本	市役所本庁舎
救急用品（救急箱）	29 個	保健福祉センター
防災ラジオ	29 台	市役所本庁舎、旧共済事務所
懐中電灯	58 個	市役所本庁舎
簡易トイレ	87 台	福祉事務所
簡易トイレ用収納袋	1,600 枚	市役所本庁舎
おむつ処理袋（防臭袋）	240 枚	福祉事務所
タオル	1,600 枚	市民文化センター、福祉事務所

※1 乳幼児、高齢者、要介護認定者等に対して、特に配慮が必要なものとして整備します。乳幼児については0～3歳、高齢者については75歳以上、要介護認定者については要介護3以上と認定された方を対象（特別養護老人ホーム入所基準を準用）として必要数を算出しています。

なお、要介護者などの特別な対応を必要とする避難者については、指定避難所での受け入れ後に、協定を締結している福祉避難所への移送を検討・協議します。

※2 食料品や日用品等で個別対応が必要な対象人数については次のとおりです。

0歳児：4人（想定避難人口の0.5%）

0～3歳児：17人（同2.1%）

75歳以上：165人（同20.6%）

10～55歳女性：170人（同20.7%）

要介護3以上：18人（同2.3%）

(3) 資機材

避難所運営のほか、災害への応急対策活動用に準備します。また、応急対策活動にあたって不足する資機材に関しては、災害時応援協定に基づいて応援を要請します。

・発電機 ・投光器 ・石油ストーブ ・ジェットヒーター ・プライバシースクリーン ・コードリール ・灯油ポリタンク ・ガソリン携行缶 ・段ボールベッド ・給水袋 ・防災用マルチルーム ・除雪機

資機材等

品目	目標数量	主な備蓄場所
発電機 (2.5kVA 程度)	44 台	市役所本庁舎、朝日支所
投光器	44 台	市役所本庁舎、東 5 北 7 倉庫
石油ストーブ (電池式)	44 台	市役所本庁舎、旧共済事務所
ジェットヒーター	2 台	旧温根別中学校
プライバシースクリーン	1,450 枚	東 5 北 7 倉庫、温根別出張所
コードリール	21 台	市役所本庁舎
灯油ポリタンク (18ℓ)	44 個	市役所本庁舎
ガソリン携行缶 (20ℓ)	44 個	市役所本庁舎
段ボールベッド	29 台	旧共済事務所、朝日中学校
フロアマット	290 本	市役所本庁舎、東 5 北 7 倉庫
土のう袋	5,000 枚	旧施設維持センター
給水袋	800 枚	市役所本庁舎
防災用マルチルーム	290 個	東 5 北 7 倉庫、温根別出張所
ブルーシート	500 枚	市役所本庁舎、東 5 北 7 倉庫
乾電池	各 100 個	市役所本庁舎
除雪機	5 台	市役所本庁舎、朝日支所及び各出張所

■ 6. 行政備蓄品の保管について

備蓄食料や資機材に関しては、災害発生時に迅速に使用できるような場所に保管することが必要です。

保管の方法については、維持や管理、日常からの点検等を行いやすいよう、一括して保管する方法と避難所開設時にすみやかに利活用できるよう、各避難所へ分散して保管する方法があります。

各避難所における空きスペースが不足している場合や一括保管できる公共施設が老朽化していることなどの課題もあり、「土別市公共施設マネジメント基本計画」との整合性も図りながら、適切かつ効率的な保管ができるよう整備を進めることが必要です。

指定避難所すべてに分散して保管することが望ましいとも考えられますが、主要な避難所である小中学校などではスペースの確保が難しいため、非常食や毛布など最低限必要なものを保管し、資機材などについては保管スペースに余力のある公共施設などに集中保管するものとします。

今後、指定避難所等を新築または改築する際には、備蓄専用の倉庫を整備するなどのほか、単独の備蓄倉庫を整備することについても検討を進める必要があります。

備蓄品の主な保管場所

- 指定避難所（小中学校など）
- 旧施設維持センター（土別市大通北2丁目）
- 土別市役所本庁舎防災倉庫（土別市東6条4丁目）
- 土別市民文化センター（〃）
- 土別市保健福祉センター（土別市東11条5丁目）
- 朝日支所（土別市朝日町中央4040番地）
- 旧共済事務所（土別市東4条3丁目）

■ 7. 資料編 年次整備計画

備蓄品の目標数量算定における考え方について

品目	考え方
アルファ米（主食）	賞味期限 5 年
マジックパスタ（主食）	一人あたり 3 食/日
おかゆ	賞味期限 5 年 0～3 歳及び 75 歳以上を対象
缶詰、ビスケット等	賞味期限 5 年 一人あたり 1 食
粉ミルク	賞味期限 1.5 年 0～3 歳児を対象
液体ミルク	一人あたり 200ml×5 回/日 1 箱で 3 回/日
飲料水	一人あたり 1 日 3ℓ
紙おむつ	0～3 歳児を対象 一人あたり 10 枚/日
介護おむつ	要介護 3 以上を対象 一人あたり 6 枚/日
生理用品	10～55 歳女性のうち 1/4 を対象（4 週に 1 回）
ほ乳瓶	0 歳児を対象
マスク	一人あたり 2 枚
ティッシュペーパー	3 人に 1 箱
トイレットペーパー	一人あたり 1 ロール
おしりふき	指定避難所につき 1 個
ウェットティッシュ	指定避難所につき 1 個
手指消毒液	指定避難所につき 1 本
救急用品（救急箱）	指定避難所につき 1 箱
防災ラジオ	指定避難所につき 1 台
懐中電灯	指定避難所につき 2 個
簡易トイレ	指定避難所につき 3 台
簡易トイレ用収納袋	一人あたり 1 枚
タオル	一人あたり 2 枚
発電機	收容人数に応じて～500 人/1 台
投光器	501～1,000 人/2 台
石油ストーブ	1,001 人～/3 台
プライバシースクリーン	指定避難所につき 50 枚
灯油ポリタンク	石油ストーブの配置数と同じ
ガソリン携行缶	発電機の配置数と同じ
段ボールベッド	指定避難所につき 1 台 ※要介護避難者を対象
防災マルチルーム	指定避難所につき 10 個
フロアマット	指定避難所に 10 本ずつ
給水袋	一人あたり 1 枚
ブルーシート	指定避難所につき 20 枚（1 枚 3.6m×5.4m）
乾電池	単 1、単 3、単 4 各種（懐中電灯等用）

資料編 年次整備計画

食料品等

品目	2021年度末	単位		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	目標値	備考
アルファ米、パスタ等(主食)	2,282	食	整備数	314	560	399	438	200	2,400	消費期限5年
			期限到来減	▲196	▲560	▲399	▲438	▲200		
			残高	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400		
おかゆ	574	食	整備数	26	95	150	174	80	600	消費期限5年
			期限到来減		▲95	▲150	▲174	▲80		
			残高	600	600	600	600	600		
缶詰(副食)	802	食	整備数	0	120	50	172	300	800	消費期限5年
			期限到来減		▲120	▲50	▲172	▲300		
			残高	802	802	802	802	802		
ビスケット・クッキー・ようかんなど	610	食	整備数	190	0	94	80	200	800	消費期限5年
			期限到来減		0	▲94	▲80	▲200		
			残高	800	800	800	800	800		
粉ミルク 液体ミルク	184	箱	整備数	92	97	92	0	92	184	消費期限1年6カ月
			期限到来減	▲92	▲97	▲92		▲92		
			残高	184	184	184	184	184		
飲料水 (500mlペットボトル)	5,524	本	整備数	0	800	484	1,008	1,008	5,000	消費期限5年
			期限到来減		▲800	▲1,008	▲1,008	▲1,008		
			残高	5,524	5,524	5,000	5,000	5,000		

生活用品等

品目	2021年度末	単位	サイズ	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	目標値	備考
毛布	1,000	枚				2020年度整備完了			1,000	
タオルケット	500	枚				2020年度整備完了			500	
アルミブランケット	290	枚				2020年度整備完了			290	
寝袋	100	個				2020年度整備完了			100	
紙おむつ	240	枚	Sサイズ	0	0	360	360	0	720	
	240		Mサイズ	0	0	360	360	0		
	240		Lサイズ	0	0	360	360	0		
介護おむつ	80	枚	Sサイズ	0	0	120	120	0	240	
	80		Mサイズ	0	0	120	120	0		
	80		Lサイズ	0	0	120	120	0		
生理用品	300	枚		0	0	150	150	0	300	
ほ乳瓶	25	本				2021年度整備完了			25	
マスク	1,600	枚		0	0	0	800	800	1,600	
ティッシュペーパー	270	箱				2020年度整備完了			270	
トイレットペーパー	66	ダース				2020年度整備完了			66	
おしりふき	29	個		0	29	0	0	0	29	
ウエットティッシュ	29	個		0	29	0	0	0	29	
手指消毒液	29	本				2020年度整備完了			29	
救急箱	29	箱				2019年度整備完了			29	
防災ラジオ	29	台				2019年度整備完了			29	
懐中電灯	58	個				2021年度整備完了			58	
簡易トイレ	87	個				2020年度整備完了			87	
簡易トイレ用収納袋	1,600	枚				2020年度整備完了			1,600	
おむつ処理袋	240	枚				2021年度整備完了			240	
タオル	1,600	枚				2019年度整備完了			1,600	

資機材等

品目	2021年度末	単位	形式	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	目標値	備考
発電機	44	台				2019年度整備完了			44	
投光器	44	台				2019年度整備完了			44	
石油ストーブ	44	台				2019年度整備完了			44	
ジェットヒーター	2	台				2017年度整備完了			2	
プライバシースクリーン	1,450	枚				2020年度整備完了			1,450	
コードリール	20	台				2019年度整備完了			20	
灯油ポリタンク	44	個				2019年度整備完了			44	
ガソリン携行缶	44	個				2019年度整備完了			44	
段ボールベッド	30	台				2019年度整備完了			30	
フロアマット	290	本				2021年度整備完了			290	
給水袋	800	枚				2019年度整備完了			800	
防災用マルチルーム 【目隠しシート含む】	290	個				2019年度整備完了			290	
ブルーシート	500	枚				2019年度整備完了			500	
乾電池	100	本	単一型			2019年度整備完了			100	
	100	本	単三型			2019年度整備完了			100	
	100	本	単四型			2019年度整備完了			100	
除雪機	0	台		0	1	2	2	0	5	

※避難所開設時に消費した資材は都度補充を実施する。

